



USBメモリーのデータ 暗号化ソフト 米に投入 ニーモニックセキュリティ

ニーモニックセキュリティ(大阪市北区、國米仁社長、06・6361・5311)は、USBメモリーのデータを暗号化できるソフトウェア

「クリプトニーモ」を11月に米国で本格発売する。サイトからダウンロードする形で、ライセンス1本45円で販売。年間1万本を目指す。ソフトは米サンディスクなどが製品化したUSBメモリー「U3」の推奨製品に選ばれた。U3に保存、暗号化されたデータは、ユーザー本人の記憶をもとに暗号を解いたときだけ、閲覧できる。このためUSBメモリーを紛失しても第三者はファイルを開けない。暗号を解く方法は、あらかじめユーザーが一生忘れない人の写真や絵柄をシンボルとして登録しておき、認証時に選択する。例えば、64個並ぶ画像の中から、暗証番号を入力する要領で8個を選

ぶ。数字は忘れやすいが、視覚的な画像は忘れにくい点に着目した。

暗号鍵は本人確認の認証時に一時生成され、認証後は自動消去する。これにより暗号鍵のデータが盗まれる心配もない。「U3」オフィシャルサイトからのダウンロード方式で拡販する。同社は記憶照合による認証事業を主力とするベンチャー企業。

2005年10月28日
日刊工業新聞
1面に掲載